[参考資料]

1. 原料費調整制度の概要

・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、
毎月、従量料金単価（1㎥あたりの単価） を調整する制度です。

・基準平均原料価格（83,350円／㌧）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円 につき、
1㎥あたり 0.081円（税抜）調整します。

・ガス料金の計算に適用する平均原料価格については、133,360円/㌧を上限とします。

2. 平均的なガス使用量（31㎥/月）のご家庭のガス料金（2024年4月検針分）

（1）平均原料価格の算定

＜LNG平均輸入価格＞				＜LPG平均輸入価格＞				
98,930 （円/㌧）	×	0.9576	＋	91,480 （円/㌧）	×	0.0466	＝	98,998.336 （円/㌧）

⇒ 99,000 （円/㌧） ※10円未満を四捨五入

（2）平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

＜平均原料価格＞		＜基準平均原料価格＞		
99,000 （円/㌧）	－	83,350 （円/㌧）	＝	15,650 （円/㌧）

⇒ 15,600 （円/㌧） ※100円未満を切捨て

（3）従量料金単価の調整額の算定

＜原料価格変動額＞						＜消費税率＞		
15,600 （円/㌧）	×	0.081 （円/㎥）	÷	100 （円/㌧）	×	（ 1 ＋ 0.10 ）	＝	13.8996 （円/㎥）

⇒ 13.89 （円/㎥） ※小数点第3位以下を切捨て

（4）従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款 料金表Bの場合）

＜基準単位料金＞		＜従量料金単価の調整額＞		＜政府支援分＞※		
169.03 （円/㎥）	＋	13.89 （円/㎥）	－	15.00 （円/㎥）	＝	167.92 （円/㎥）

（参 考） 2024年3月検針分の従量料金単価との比較

＜2024年4月の従量料金単価＞		＜2024年3月の従量料金単価＞		
167.92 （円/㎥）	－	165.25 （円/㎥）	＝	＋2.67 （円/㎥）

※電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援に基づく値引き。

（5）ガス料金（2024年4月検針分、税込）

＜基本料金＞		＜従量料金単価＞		＜ガス使用量＞		
1,588.88 （円/月）	＋	167.92 （円/㎥）	×	31（㎥/月）	＝	6,794.40 （円/月）

⇒ 6,794 （円/月） ※1円未満を切捨て

以 上